

能と狂言

鏡仙会

TESSENKAI

青山能

2025年3月26日(水)
午後6時30分開演(午後6時開場)
会場 鏡仙会能楽研修所

狂言

貰智

もらいむこ

山本凜太郎

能

夕顔

ゆうがお

長山

桂三



鏡仙会青山能〈3月〉

2025年3月26日(水) 午後6時30分開演

狂言 貰智

シテ 舞 山本凜太郎
 アド 妻 山本 則秀
 " 勇 山本 則重

能 夕顔

前シテ 里女 長山 桂三
 後シテ 夕顔上
 ワキ 赤僧 御厨 誠吾
 ワキツレ 従僧 野口 能弘
 " 野口 琢弘
 アイ 所ノ者 山本 則孝
 笛 杉 信太郎
 小鼓 大山 容子
 大鼓 柿原 孝則
 地頭 谷本 健吾

貰智

酒に酔った勢いで妻と口論になった夫。妻は暇を言い渡され、泣く泣く実家へと帰るが、舅は毎度のことと呆れながらも夫の元へ戻るよう説得する。しかし今度ばかりは娘の決意も固く、舅も仕方なく受け入れる。さて、翌日酔いが醒めた夫はばつが悪そうに舅の家を訪ね、妻を戻すよう頼むが舅は聞き入れない。しかし母恋しさに子が泣くと聞いた妻は、それにほだされ、突然帰ると言い出す。先程の覚悟はどうしたと舅も怒り心頭。妻を連れ帰ろうとする夫と取っ組み合いとなり…。

夕顔

都へ上った九州豊後国の僧が五条辺りを訪ねると、近くの家から歌を詠ずる女の声が聞こえてきた。やがて姿を現した女は、ここはかつて融大臣が住み、『源氏物語』にも何某の院と書かれた河原院の旧跡なのだと僧に教える。また夕顔上が落命した場所でもあるのだと言って夕顔上と光源氏の儂い恋物語を詳しく語り始める…。かつてこの家の軒先には夕顔の花が美しく咲いていた。そしてその花が縁となって源氏と夕顔上は深い契りを交わすことになったのだ。しかしある夜、夕顔上はこの院で突然物怪に襲われて命を落とす。帰らぬ人となってしまった…。そう物語ると女は消え失せてしまう。やがて夕顔上の霊が在りし日の姿で現れ、荒れ果てた院の凄まじい景色の中、往時を憶んで舞を舞う…。夕顔の花のように儂くその命を散らした夕顔上。その運命と恋心を美しく描いた能。

〈午後8時35分頃終演予定〉

◎より詳しい解説を鏡仙会ホームページにて順次公開しております。
 ご観能前には是非ご覧下さい。

※携帯電話等、音や光の出る機器の電源は予めお切り下さい。
 ※無許可の写真撮影、録音、録画は固くお断り致します。
 ※客席内でのご飲食はご遠慮下さい。

終演後に能楽小講座あり。
 その日の演目を中心に、能楽師が初めての方にも分かりやすくお話し致します。

会場：鏡仙会能楽研修所(全自由席)

〈交通〉地下鉄 表参道駅下車
 (銀座線・千代田線・半蔵門線)
 A4出口より徒歩3分
 〒107-0062
 東京都港区南青山4-21-29
 TEL03-3401-2285
 ※駐車場はございません。
 お車での来場はご遠慮下さい。

入場料

一般 4,500円
 U25(25歳以下) 2,200円
 ベンチ 5,000円

回数券 定期公演青山能共通/5枚綴り
 一般回数券 22,000円
 U25(25歳以下)回数券 11,000円

※2025年度の定期公演・青山能でご利用頂けます。
 ご予約受付中。詳しくは鏡仙会までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ・お申し込み：鏡仙会

電話 03-3401-2285(平日10時~17時)
 ホームページ <http://www.tessen.org>
 予約受付開始：2024年12月16日(月) 10時~13時

鏡仙会定期公演〈4月〉予告

会場：観世能楽堂

4月11日(金) 午後6時開演

狂言 水掛智

田に引く水が原因で組み合いとなった男と智、妻が二人の間に割て入るが…。 山本泰太郎
 帝の愛を失い猿次郎の池に入水し果てた采女は懐旧の舞を舞う。 志喜と哀傷の能。 清水 寛二

鏡仙会青山能〈5月〉予告

会場：鏡仙会能楽研修所

5月28日(水) 午後6時30分開演

狂言 磁石

大刀で追ひ詰められた男は咄嗟に磁石の精と名乗り、刀を呑もうと逆襲する…。 野村万之丞
 管絃の太鼓の役を争い、死んだ男の妻はあんなに太鼓こそ夫の仇と太鼓を打ち鳴らす。 安藤 貴康